

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2003-41024 (P2003-41024A)

【公開日】平成 15 年 2 月 13 日 (2003.2.13)

【出願番号】特願 2001-230156 (P2001-230156)

【国際特許分類第 7 版】

C 08 J 5/18

B 65 D 41/62

B 65 D 65/02

C 08 G 63/83

// C 08 L 67:02

【F I】

C 08 J 5/18 C F D

B 65 D 41/62 C

B 65 D 65/02 B R R

B 65 D 65/02 B S F E

C 08 G 63/83 Z A B

C 08 L 67:02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱収縮性ポリエステル系フィルムにおいて、

多価アルコール成分 100 モル%のうち、1, 4 - シクロヘキサジメタノール成分が 10 ~ 80 モル%であり、

10 cm × 10 cm の正形状に切り取った熱収縮性ポリエステル系フィルムの試料について、下記 (A)、(B) および (C) の熱収縮率が、(A) : 15 ~ 40 %、(B) : 45 ~ 67 %、(C) : 8 % 以下であり、

(A) : 65 の温水中に 10 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、

(B) : 85 の温水中に 10 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、

(C) : 85 の温水中に 10 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向と直交する方向の熱収縮率、

温度 275 における溶融比抵抗値が $0.70 \times 10^8 \cdot \text{cm}$ 以下であり、

フィルム端部同士の接着により形成したチューブ状ラベルを、所定の方法で 190 の熱風中で 2 秒間一次収縮させた後、75 の温水中に 10 秒浸漬して引き上げ、次いで 25 の水中に 10 秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率が 10 % 以上であり、

上記チューブ状ラベルの一次収縮後の接着部の接着状態保持率が 95 % 以上であることを特徴とする熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項 2】

熱収縮性ポリエステル系フィルムにおいて、
多価アルコール成分 100 モル%のうち、1,4-シクロヘキサジメタノール成分が
10～80 モル%であり、
10 cm×10 cmの正形状に切り取った熱収縮性ポリエステル系フィルムの試料に
ついて、下記(A)、(B)および(C)の熱収縮率が、(A):15～40%、(B)
:45～67%、(C):8%以下であり、
(A):65の温水中に10秒浸漬して引き上げ、次いで25の水中に10秒浸漬
して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、
(B):85の温水中に10秒浸漬して引き上げ、次いで25の水中に10秒浸漬
して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、
(C):85の温水中に10秒浸漬して引き上げ、次いで25の水中に10秒浸漬
して引き上げたときの最大収縮方向と直交する方向の熱収縮率、
フィルム中のアルカリ土類金属原子M²の含有量が40～400 ppm(質量基準)で
あり、リン原子の含有量が60～600 ppm(質量基準)であり、
フィルム端部同士の接着により形成したチューブ状ラベルを、所定の方法で190の
熱風中で2秒間一次収縮させた後、75の温水中に10秒浸漬して引き上げ、次いで2
5の水中に10秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率が10%以上であ
り、
上記チューブ状ラベルの一次収縮後の接着部の接着状態保持率が95%以上であることを
を特徴とする熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項3】

フィルムの最大収縮方向に対する厚みの変位を、前記最大収縮方向の長さが50 cm、幅が5 cmの試験片を用いて測定したとき、下記式で表される厚み分布が5%以下である請求項1または2に記載の熱収縮性ポリエステル系フィルム。

$$\text{厚み分布} = (\text{最大厚み} - \text{最小厚み}) / \text{平均厚み} \times 100$$

【請求項4】

フィルム中のアルカリ金属原子M¹の含有量が5～100 ppm(質量基準)である請求項1～3のいずれかに記載の熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかに記載のフィルムの端部同士の接着により得られることを特徴とするキャップシール用チューブ状ラベル。